

く おうりゅうじんじや
九王 龍 神社の春まつり
(船上継獅子)

今治市の九王海岸にある龍神社のお祭りです。海上渡御の際に行われ、地上でさえ難しいこの継獅子が不安定な船上で披露されます。当日は強い風が吹く中での演技で、バランスをとるのが大変な様子でしたが、一生懸命に演技をされていました。

オンリーワン 山内 信子



投稿コーナー「たしっぽ」

冬が去り 春も又行き 今は夏
病と共に 季節も巡る
黒川 美奈子 詠



新コーナー そよかぜコラム：『夏こそ酢！』

日頃、酢の活用法というとお寿司や酢の物を作る時にほんのわずかな量を使うくらいの方もいるのではないのでしょうか？次に使おうと思ったら、期限切れ！ということもあったり…それではもったいない！実は本格的な暑さになるこれからの時季は、あらゆる場面で酢が活躍します。

夏バテによって疲労感があったり食欲が無い時にお酢をとれば、疲労軽減や食欲増進の効果があります。毎日一食でも酢の物を食べたり、手軽に飲める黒酢ドリンクなど自分の好みの味を見つけて、毎日続けてみるのはいかがでしょうか？また、期限が切れてしまった酢があれば、床などに酢をスプレーしてから拭くと殺菌効果とつや出し効果があります。流し台のシンクや風呂場に付着している水垢や黒ずみにもとても効果があります。そして、私が一番オススメする酢の活用法は、夏になるとどこからともなく突然やって来るゴキブリ対策に使います。ゴキブリはとても嗅覚が優れているらしく、酢の匂いはとても嫌な匂いを感じるそうです。私は、ゴキブリが好きなニンニクやチーズを使った料理をした後のフライパンには最後に酢をかけて流します。あと、入浴後の風呂場の排水口周辺や、洗濯機周り、台所やトイレの排水口にも振りかけます。しばらく酢のツーンとした匂いが充満しますが、ゴキブリ避けの為ならと簡単にできてとても有効だと思います。



オンリーワン 佳子

オンリー



バリアフリー
ペーパー

夏号

平成 30 年 7 月 24 日発行



この機関紙は、西条市障害者相談支援センターがパソコン就労をめざす障がい当事者グループ「オンリーワン」に編集を委託し、協同で作成したものです。



梅雨明けをして厳しい暑さが続いています。今年の夏は例年よりも気温が高くなると予報がされており、熱中症に注意が必要です。「熱中症」とは、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。こまめに水分補給をすることや、涼しい服装をして、室温調整や日陰で過ごすなど暑さを避けることが予防になります。熱中症を予防して、厳しい夏の暑さを乗り切りましょう。（支援センター 高木）

障害者総合支援法及び児童福祉法の改正について

(平成 30 年 4 月 1 日施行)

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（以下、「障害者総合支援法」という）及び児童福祉法が改正されました。

従来の障害福祉サービス等の改正や、「就労定着支援」「自立生活援助」「居宅訪問型児童発達支援」のサービスの 신설、共同生活援助（グループホーム）の新類型として「日中サービス支援型共同生活援助」の 신설、介護保険法に基づくサービスと障害福祉サービス・障害児通所支援の類似サービス（ホームヘルプサービス、デイサービス、ショートステイ）について、既に指定を受けている事業所が他の指定を受けやすくするための特例を設けた「共生型障害福祉サービス」が追加されました。この共生型障害福祉サービスを行う事業所において、特にデイサービスでは、高齢者と障がい者・障がい児が同じ場所で同じ時間にサービスを受けることとなっています。

新サービスについて(主なものを抜粋)

- 『就労定着支援』…生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援の利用を経て一般就労へ移行後 6 カ月を経過した障がい者で、就労に伴う環境変化により生活面の課題が生じている者に対して、企業・自宅等への訪問や障がい者の来所により、課題解決に向けて必要な連絡調整や指導・助言等の支援を行う。
- 『自立生活援助』…障がい者支援施設やグループホーム等を利用していた障がい者で一人暮らしを希望する者に対して、定期的に利用者の居宅を訪問し、生活状況の確認を行い、助言や医療機関等との連絡調整を行うとともに、相談・要請への随時の対応を行う。
- 『日中サービス支援型共同生活援助』…重度化・高齢化のため日中活動サービスを利用できない障がい者に対して、共同生活を営む住居（グループホーム）において、昼夜を通じた入浴、排せつ、食事の介護等又は相談その他の日常生活上の援助を行う。
- 『共生型障害福祉サービス』…介護保険法や児童福祉法のサービスを行う事業所が共生型の特例により類似サービスの指定を受け、高齢者・障がい者、障がい児に対してサービスを行う。

発行：西条市障害者相談支援センター（西条市社会福祉協議会）

編集：オンリーワン編集委員

〒799-1371 西条市周布 606 番地 1 西条市東予総合福祉センター内
TEL : 0898-64-2600 (代) FAX : 0898-64-3920 E-mail : soudan1-saijo@saijoshakyo.or.jp

放課後等デイサービス 「きゃんぱす」を訪問して

西条市飯岡に今年3月20日に開所した放課後等デイサービス『きゃんぱす』取材させていただきました。センター長の黒川さんからお話を伺いました。



センター長の黒川洋輔さん

きゃんぱすには発達に困り感のある学齢児が通われ、現在は約20名が利用登録をされています。1日に平均で6〜7名が利用されています。スタッフはセンター長を含めて男性2名、女性5名で対応しています。小学生から高校生まで利用ができ、現在は小学校低学年が多いそうです。平日の放課後以外にも、土曜日や夏休みなどの長期休暇も利用できます。放課後に学校まで職員がお迎えに行き、きゃんぱすで過ごしてから自宅の方まで送迎してもらえます。保護者の方が送り迎えされる場合もあり、ご家庭にあった利用の仕方を相談できるそうです。



利用する子ども達のスケジュール

『きゃんぱす』では、全員で同じことをするだけではなく、障がいの特性や子どもの成長に応じて、それぞれに合ったスケジュールで、学習、運動、工作などの時間を設定して、メリハリをつけて活動をしています。



学習・・・学習に集中することが苦手な子どもには、仕切り等を使って外部からの刺激が少ない空間で宿題等ができるように配慮がされています。
 運動・・・プレイルームではボルダリングができるクライミングウォールがあり、小学校低学年の児童も上手に登っているそうです。ボール遊びや天井から吊り下げたブランコでの遊びも人気で、遊びを通して体の使い方を学びます。きゃんぱすにはリハビリスタッフがおり専門的な支援を受けることができます。
 工作・・・小物作り等の創作活動をしています。

名前の由来は” 絵画に使う白いキャンパスのように、それぞれの個性で色々な色を描いてほしい “という思いでつけられたそうです。『キャンパス』をイメージしていましたが、『キャンパス』と勘違いしてしまい、『有限会社キャンパス』になったようです。そこから、現在の『放課後等デイサービスきゃんぱす』になっているようです。



《 お問い合わせ 》

事業所名：放課後等デイサービス きゃんぱす
 住 所：愛媛県西条市飯岡 3798-1
 電話・FAX：0897-47-5373（担当：黒川）
 休 業 日：木・日曜日



今後の目標を黒川さんにお聞きしました。
 “開所をして、放課後等デイサービスの利用を希望される方が沢山いらっしゃることに驚き、必要とされている場所だと実感しました。また同時に、より良いサービスを提供して、『きゃんぱす』が子どもたちにとって、安心して楽しく元気に活動できる場所になり、子どもたちの健やかな成長をお手伝いさせていただきたいと考えています。”
 とても素敵な場所で、たくさんの方に知ってもらいたい所でした。

オンリーワン 柳瀬



題名：夏の風景

夏の海をイメージして描きました。遠近感を出すために前側にさくらんぼの木を描き、海の色にグラデーションをつけました。全体的な構成を上手くまとめることができましたと思います。

山内 信介

